





## 年末年始・旧正月における家畜防疫対策の徹底を！

今シーズンも家きん農場及び野鳥で高病原性鳥インフルエンザ (HPAI)の発生が断続的に続いており、油断できない状況が続いています。引き続き念入りな健康観察と病原体侵入防止対策の徹底をお願いします！

さらに年末年始及び旧正月の時期を迎え、人や物の動きが活発になると見込まれるため、引き続き病原体侵入防止対策の徹底をお願いします！

### 1 海外への渡航自粛

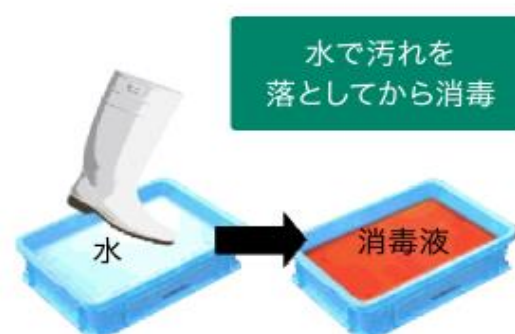
- 口蹄疫やアフリカ豚熱等の発生地域への不要不急の渡航を自粛すること
- 外国人従業員を受け入れている畜産関係者等は、日本への持ち込みが禁止されている肉製品等を海外から持ち込まれることがないように従業員等に周知すること  

### 2 病原体の侵入防止

- 衛生管理区域に立ち入る全ての人は車両の消毒、専用の衣服や手袋・長靴の着用、手指消毒等を徹底すること
- 衛生管理区域及び畜舎に関係のない人が立ち入らないよう、境界を明確にして 看板等で注意を促すこと
- 野生動物侵入防止対策を徹底し、現場の「隙」を埋めること



関係者以外の農場への立入を禁止



農場（畜舎）に出入りする際には、消毒を実施

### 3 健康観察・早期発見・早期通報

△家畜に異状がある場合は  
直ちに当所へ連絡を！

**次のような症状が見られたら速やかに家畜保健衛生所へ！**

- \* 過去3週間の死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった  
2倍未満の場合でも5羽以上まとまって死亡している
- \* まとまって嗜眠・沈うつ状態になっている（写真1・2）
- \* 皮下出血がある（写真3）
- \* トサカや肉垂が暗青色に変化した（写真4）
- \* 急激に産卵率が低下した
- \* 餌食いが悪い



写真1 元気消失  
(真瀬昌司原図)



写真2 沈うつ  
(山口県提供)



写真3 皮下出血  
(真瀬昌司・谷村信彦原図)



写真4 肉垂のチアノーゼ  
(動物研究所提供)

《つがる広域家畜保健衛生所》

(平日8:30~17:15) 0173-42-2276(夜間・土日祝) 090-8788-7459